2019/3/22 Contents

量子コンピュータで学ぶ 量子プログラミング入門



目次

<u>ハンズオン環境設定 (./0_index.ipynb)</u>

第一章 量子情報理論の基本原理 (./1 basic.ipynb)

- <u>量子情報理論の三つの基本原理 (./1_basic.ipynb#postulate)</u>
 - 重ね合わせの原理 (./1 basic.ipynb#superposition)
 - 観測の原理 (./1 basic.ipynb#measurement)
 - ユニタリ発展の原理 (./1_basic.ipynb#unitary)
- 数学的準備 1 (./1 basic.ipynb#math1)

第二章 量子回路を構成する (./2 circuit.ipynb)

- 基本的なゲートと回路の構成法について (./2 circuit.ipynb#gates basics)
- 基本的なゲートーつからなる回路を構成する (./2_circuit.ipynb#one_gates_basics)
- <u>ゲートをSerialにつなげて回路を構成する (./2 circuit.ipynb#serial_gates)</u>
- ゲートをParallelに並べて回路を構成する (./2 circuit.ipynb#parallel gates)
- <u>コントロール・ゲート回路を構成する (./2_circuit.ipynb#control_gates)</u>
- <u>ゲートをSerial, Parallelに並べて回路を構成する (./2_circuit.ipynb#serial_parallel_gates)</u>
- 演習問題 (./2 circuit.ipynb#exercises)

<u>第三章 構成された回路はどのような働きをするのか?</u> <u>(./3_simulation.ipynb)</u>

- 構成された回路はどのような働きをするのか? (./3 simulation.ipynb#chapter3)
 - <u>一つ一つのゲートはどのような働きをするのか? (./3_simulation.ipynb#a1)</u>
 - 量子ゲートとユニタリ行列 (./3 simulation.ipynb#a2)
 - 基本的な1-gubitゲートと対応するユニタリ行列 (./3 simulation.ipynb#a3)
 - 演習問題 1 (./3 simulation.ipynb#a4)
 - ゲートの出力ベクトルを、ユニタリ行列と入力ベクトルの積として計算する (./3 simulation.ipynb#a5)
 - 代表的な1-qubitのゲート X, Z, H の働きのまとめ (./3 simulation.ipynb#a6)
 - 演習問題 2 (./3 simulation.ipynb#a7)
- ゲートはどのように組み合わされるのか? (./3 simulation.ipynb#b1)
 - 組み合わされたゲートは、どのような働きをするのか? (./3 simulation.ipynb#b2)
 - Serialな構成の場合 (./3 simulation.ipynb#b3)
 - Parallelな構成の場合 (./3 simulation.ipynb#b4)

2019/3/22 Contents

- <u>コントロールの構成の場合 (./3 simulation.ipynb#b5)</u>
- 数学的準備 2 -- 行列のテンソル積 (./3 simulation.ipvnb#c1)
 - <u>システムのテンソル積 (./3 simulation.ipynb#c2)</u>
 - CNOTの入力と出力をテンソル積で表示する (./3 simulation.ipynb#c3)
 - 演習問題 3 (./3 simulation.ipynb#c4)
- <u>構成した回路をシミュレートする (./3 simulation.ipynb#d1)</u>
 - 回路の出力ベクトルをシミュレートする (./3 simulation.ipynb#d2)
 - 回路全体を一つのユニタリ行列で表す (./3 simulation.ipynb#d3)

<u>第四章 構成した回路を観測する (./4_measurement.ipynb)</u>

- <u>観測の原理 (./4_measurement.ipynb#a2)</u>
- 回路の出力を観測する (./4 measurement.ipynb#a3)

<u>第五章 IBM Qで量子プログラムを実行する (./5_ibm_q.ipynb)</u>

• Qiskitで量子プログラムを設計する (./5 ibm q.ipynb#1.-

Qiskit%E3%81%A7%E9%87%8F%E5%AD%90%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9

- <u>量子回路を定義する (./5 ibm q.ipynb#1-A.-</u>
 - <u>%E9%87%8F%E5%AD%90%E5%9B%9E%E8%B7%AF%E3%82%92%E5%AE%9A%E7%BE%A9</u>
- <u>Aerで量子計算をシミュレーションする (./5 ibm q.ipynb#1-B.-</u>
 - <u>Aer%E3%81%A7%E9%87%8F%E5%AD%90%E8%A8%88%E7%AE%97%E3%82%92%E3%82%E</u>
- IBM Qで実行する (./5 ibm q.ipynb#2.-IBM-
 - Q%E3%81%A7%E5%AE%9F%E8%A1%8C%E3%81%99%E3%82%8B)
 - <u>量子コンピュータ情報を取得する (./5_ibm_q.ipynb#2-A.-</u>%E9%87%8F%E5%AD%90%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%A5%E3%83%BC%
 - ジョブを送信する (./5 ibm g.ipynb#2-B.-
 - %E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%96%E3%82%92%E9%80%81%E4%BF%A1%E3%81%99%
 - <u>ノイズシミュレーション (./5 ibm q.ipynb#2-C.-</u>
 - %E3%83%8E%E3%82%A4%E3%82%BA%E3%82%B7%E3%83%9F%E3%83%A5%E3%83%AC%

第六章 エンタングルメント (./6 entanglement.ipynb)

- EPRペア -- もつれあった二つの量子 (./6 entanglement.jpynb#a2)
 - EPRペアの不思議 (./6 entanglement.ipynb#a3)
 - 2 qubit システムの「部分的観測」 (./6 entanglement.ipynb#a4)
 - エンタングルメントの発見とアインシュタイン (./6 entanglement.jpynb#a5)
- Bell State (./6_entanglement.ipynb#a6)
 - 演習問題 1 (./6 entanglement.ipynb#a7)
- Bell State ゲート (./6 entanglement.ipynb#a8)
 - 演習問題 2 (./6 entanglement.ipynb#a9)
- Bell State ゲートの出力を計算する
 - 演習問題 3 (./6_entanglement.ipynb#a11)

<u>第七章 量子テレポーテーション (./7_teleportation.ipynb)</u>

- <u>量子テレポーテーション (./7_teleportation.ipynb#a1)</u>
 - 量子テレポーテーションの概要 (./7 teleportation.ipynb#a2)
 - <u>各ステップごとの状態変化を計算する (./7_teleportation.ipynb#a3)</u>
 - いくつかの疑問について (./7 teleportation.ipynb#a4)
- 量子テレポーテションをプログラムする (./7_teleportation.ipynb#a5)

2019/3/22 Contents

■ <u>演習問題 (./7_teleportation.ipynb#a6)</u>

In [2]:		
print ('MaruLabo')		
MaruLabo		